**＜速報＞**

　　　　　 **方面別最新情報**

**中部の沖釣り情報**

**＜予測＞**

（、

“遠州沖・伊勢湾・大王沖”

**「イサキ」「タチウオ」「キハダ」**

　　　 今年の**「イサキ釣り」**は、そろそろ終盤を迎え

ようとしています。 特にシーズンインの早かった

御前崎沖は終幕が近づいてきました。

　　　　完全には“ハタキ“は終わっておりませんが、

2回目が終わった所でしょうか？（イサキは、2

～3回に分けて産卵します）　梅雨も明けたよう

ですが、現在の好釣さは、あと一潮程は続きそう

です。 一方、シーズンインの遅れた伊勢湾は,

今が最盛期といった所。 現在、最も目立つのが、

国崎沖の漁礁周り。 今年は食い出しが6月後半

[ 四管海洋速報 黒潮の動き6.28．より ]

と遅く、その精か最近一気に食いが立ち、平日ならば

束釣り（100匹以上）は当たり前の状況です。 国崎方面のイサキ仕掛けのハリスは2号以下を使いますが、この仕掛けに45～55ｃｍ（3㎏）程の良型の石鯛が食いついてきています。 落ち着いて対処すれば十分にゲットできますので、最初から心の準備をしておいてください。

 　 新しい情報では、天竜沖に**「タチウオ」**の群れが入ってきたようです。 まだ、それほど大きな群れではありませんが、イサキが終了すると、いよいよタチウオ釣りが始まります。

[ キハダ（イメージ画像）]

　　　　もう一つのうれしい情報があります。 台風3号・4号通過後大王崎の南東方面に

30～50ｋｇもありそうな大型の**「キハダ」**が入ってきたようです。 今年は黒潮の流

路が陸から離れていますので、水温の上昇が遅れ気味です。 もう少し、水温が上昇

　　　すれば、**「カジキ」**の爆釣モードも一気に髙まることでしょう。 500ポンド（約230ｋｇ）以上の**「マーリン」**との生死を掛けた戦いが、ここ遠州灘でも見られることでしょう。

＜ 福井信明 松岡隆春　7/8 ＞

　　 **[7／6　松岡 隆春 ]**

**＜ 浜辺丸 ℡0599‐25‐2259 ＞**

**修二船長のお父さん石原 義平大船長（85才）には“鳥羽方面でのマダイの釣り方の**

**基本を教えていただきました。 両船長のますますのご活躍を祈念いたします。**

**＊私事で恐縮であるが、浜辺丸さんとは30年来の付き合いをさせていただいており、**

**（ ＣＤは、1枚1200円）**

**がする歌手になりたい。 今後共、“漁師の応援歌”を歌い続けたい」と意気込んでいる。**